

**【研究名】****骨肉腫肺転移において肺の線維化が病態にどのように関与しているのかを明らかにする研究**

この研究は、通常の診療で得られた過去の記録や残存検体を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

**1. 研究の対象**

2010年1月1日より2017年12月31日までに大阪国際がんセンターもしくは大阪大学医学部附属病院で骨肉腫の肺転移に対して肺転移巣摘出術を受けた患者さまで、原発巣と肺転移巣を共に組織保存している方を対象とします。

**2. 研究目的・方法**

骨肉腫肺転移症例の原発巣および転移巣での摘出サンプルを用いて、原発巣での線維化の程度と肺転移巣の線維化の相関および転移巣での線維化の程度と転移巣での腫瘍の悪性度との関係を調べることを目的としています。また、肺線維化と肺転移の関連が明らかになることで、肺線維化抑制による肺転移抑制療法の開発に繋がる可能性があります。骨肉腫肺転移症例の原発巣、肺転移巣の摘出サンプルを用いて、肺転移巣で線維化が進行していることを組織染色法で実証します。

研究期間は病院長承認後から2019年12月31日までです。

**3. 研究に用いる試料・情報の種類**

情報：患者背景（年齢、性別、臨床経過）

試料：「既存試料・情報の提供のみを行う機関」より提供を受けた、骨肉腫肺転移症例の原発巣、肺転移巣の摘出サンプル

**4. 外部への試料・情報の提供**

「既存試料・情報の提供のみを行う機関」より野崎徳洲会病院附属研究所へ上記の試料・情報が提供されません。

**5. 研究組織**

研究を実施する研究機関

- ・野崎徳洲会病院附属研究所 由井 理洋

既存試料・情報の提供のみを行う機関

- ・大阪国際がんセンター 中 紀文
- ・大阪大学医学部附属病院 竹中 聡

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先：

野崎徳洲会病院附属研究所

由井 理洋（研究責任者）

〒574-0074 大阪府大東市谷川2丁目10-50

(TEL) 072-874-5423 (FAX) 072-818-3723

(2018年5月11日作成)